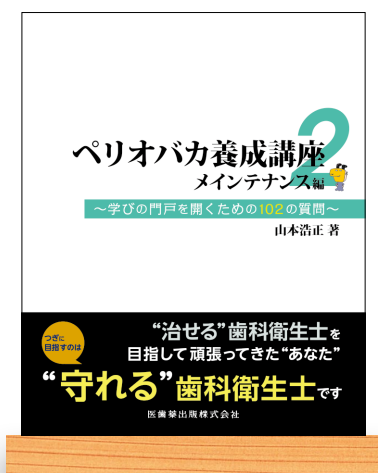


“どれだけわかっていないか”を知ることは学びのスタートである！



ペリオバカ養成講座2 メインテナンス編

学びの門戸を開くための102の質問

山本浩正 著

AB判/176頁

定価 5,940円 (本体 5,400円 + 税 10%)

医歯薬出版 (2021年4月)

東京都調布市・小林歯科医院

評・小林明子 (歯科衛生士・歯科技工士)



日本中の歯科衛生士が楽しく歯周病に取り組むきっかけを与えてくださったのが“Dr. Hiro”こと山本浩正先生だと確信しています。かつて難しい歯周病学の翻訳本に翻弄され、なかなか歯周病の本質を理解できず、細胞組織学、病因論や治療の病理学などは苦手で避けていた私たちは、Dr. Hiroの著書に出合います。個性的なプローブのイラストや、付着歯肉の細胞、歯周病菌が風変わりなキャラクターになって語りかけるイラストの世界にいつの間にか引き込まれ、楽しく学ぶことを知りました。それらの本を手元に歯周病を学び、“治せる”歯科衛生士を目指してきました。

Dr. Hiroの記念すべき20冊目の著書となる

本書、テーマは「メンテナンス」です。私たちが次に目指すべき“守れる”歯科衛生士になるためのエッセンスが、楽しく学ぶための心憎いほどの配慮とともに示されています。臨床において完全には治癒しない歯周病の本質を理解し、生涯を通じて患者さんとどう向き合っていくのか——、健康な歯周組織を維持していくための検査や施術、患者さんの生活習慣などに注目し理解を深めながら、本書全体を通じて、コミュニケーションのあり方や患者さんとの“つながり”を考えていくことになります。

本書は102の質問を摩訶不思議なキャラクターがご案内しますが、一見、簡単に思える質問も実は多くの歯科衛生士が答えに窮する内容になっています。それこそが思う壺！臨床や実際の場面に即した疑問について、論文を引用しエビデンスに基づいて解説、どこまでも深く学問的かつ臨床的に追求していきます。メンテナンスで皆さんが行う処置や指導一つひとつの意義をあらためて考え、正しい形に導いていく貴重な機会になるでしょう。そして頭から霧が晴れたようにクリアになっていく喜びを感じたら、あなたは“ペリオバカ”まっしぐらです。

どんなに学んでいても、臨床の現場では「あれ？この場合はどう考えればいいのか？これって本当に適切なのかな？」と、私たちはつねにみずから疑問を投げかけることが必要であり、これを「知識のありか」を追求する姿勢」とDr. Hiroは言います。知らないことを知り、それを知ることの喜びを知る。そしてさらに深く掘り下げ学ぶことが楽しくなることこそが、私たちの歩みの原動力になるのです。

知らないことは学びの入り口です。ペリオ上級者も初級者も“ペリオバカ度診断”を受けてみませんか？